

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

ユネスコ和紙ブランド推進連携事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県比企郡小川町及び秩父郡東秩父村、岐阜県美濃市及び島根県浜田市

3 地域再生計画の区域

埼玉県比企郡小川町及び秩父郡東秩父村、岐阜県美濃市及び島根県浜田市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

生活様式等の変化により和紙産業の国内需要が縮小し、生産者が減少している中で、後継者を希望する者も少なくはないが、高度な技術が必要なため技術習得に時間を要する事や手すき和紙が労働に見合った取引価格になっていない事が大きな要因になって、産業としての活性化に支障をきたしている。

4-2 地方創生として目指す将来像

和紙を取り巻く環境は、生活様式の変化や人口減少などにより、国内需要が低迷している。明治34年には全国で68,000戸以上あった紙すき工房も平成13年には400戸を下回り、今もなお減少の一途をたどっている。

また、生産者の高齢化に加え、原料、用具の確保も難しくなってきたおり、産地を取り巻く環境は非常に厳しい状況である。

将来像としては、ユネスコ登録3紙の産地が連携し、和紙本来の魅力のPRを進めながら和紙ブランドの確立や高品質な和紙を労働に見合った金額で流通させることにより、和紙産業を活性化し、後継者の増加を図っていく。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分	平成30年度 増加分	平成31年度 増加分

		(1年目)	(2年目)	(3年目)
石州半紙、細川紙、 本美濃紙の売上増 (%)	100.00	3.00	5.00	7.00
ユネスコ和紙ブラン ド 各産地新商品開 発数(商品の品目)	0	4	3	3

	KPI増加分の累 計
石州半紙、細川紙、 本美濃紙の売上増 (%)	15.00
ユネスコ和紙ブラン ド 各産地新商品開 発数(商品の品目)	10

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

石州半紙、細川紙、本美濃紙の産地が連携して、ユネスコの知名度を活かしたブランドを確立させるため、ユネスコ和紙展・和紙サミットの開催、テストマーケティングによる市場調査、販路開拓及び新たな用途の商品や東京五輪向け商品の開発等を実施し、手すき和紙産業再生につなげる。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

埼玉県比企郡小川町及び秩父郡東秩父村、岐阜県美濃市及び島根県浜田市

② 事業の名称: ユネスコ和紙ブランド推進連携事業

③ 事業の内容

石州半紙、細川紙、本美濃紙の産地が連携して、ユネスコの知名度を

活かしたブランドを確立させるため、次の事業を実施し産地全体の底上げを図り、手すき和紙産業再生の足がかりとする。

- ・ユネスコ和紙展及び和紙サミットを開催し和紙の可能性について生産者、加工業者、販売者、行政が考える場とする。

- ・国内テストマーケティングを実施し、消費者のニーズを探りながらPR活動を進める。

- ・東京五輪、パラリンピックに向けた商品を開発し、公認グッズとしての採用を目指し商品化を進める。

- ・一般ニーズに見合った新商品を開発しテストマーケティングなどで市場調査を実施し、新たな販路開拓のためホームページの開設やネット販売などを検討していく。

- ・特産品開発支援事業として、各産地でユネスコの知名度を活かした今までにない和紙の使用方法による商品を開発していく。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

連携事業で作成したコンセプトブックの配布や各地での展示即売会の実施により認知度を高めながら、3紙をブランド化し、加工業者からロゴマークの使用料を得、自立を図っていく。

【官民協働】

ユネスコ登録4市町村と手すき和紙技術保持団体とが連携して実施するテストマーケティングでは、3紙の紙すき実演や紙すき体験などを保持団体が行い、和紙のPRとともに販売促進を図る。また、和紙サミットにおいては、官民ともに和紙の可能性について共同で考える場を設け、ユネスコ和紙展では、試作品や既存の和紙作品及び商品を展示することによって、一般ニーズを探り、関係団体の新商品開発につなげる。

【政策間連携】

和紙産業の活性化や後継者育成により、仕事を創出し人を呼び込むことができる。

ユネスコ和紙ブランドを確立することにより、紙すき実演や体験を絡めて各産地への誘客を図る。

【地域間連携】

ユネスコ登録4市町村と手すき和紙技術保持団体が連携し、3紙同時紙すき実演を行い、地域による紙すき技術や和紙の違いを確認し、互いの生産に必要な原料確保や紙すき用具の職人育成などの課題に取り組みながらユネスコ和紙のブランド価値を向上させる。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
石州半紙、細川紙、 本美濃紙の売上増 (%)	100.00	3.00	5.00	7.00
ユネスコ和紙ブラン ド 各産地新商品開 発数 (商品の品目)	0	4	3	3

	KPI増加分の累 計
石州半紙、細川紙、 本美濃紙の売上増 (%)	15.00
ユネスコ和紙ブラン ド 各産地新商品開 発数 (商品の品目)	10

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を各市町村の地方創生担

当部署が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

各市町村の地方創生推進会議等の外部有識者会議や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

【検証結果の公表の方法】

必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業方針に反映させる。検証結果は毎年度、ホームページ等で公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】
総事業費 50,773 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

毎年度、3月末時点のK P Iの達成状況を各市町村の地方創生担当部署が取りまとめる。

【外部組織の参画者】

各市町村の地方創生推進会議等の外部有識者会議や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
石州半紙、細川紙、 本美濃紙の売上増 (%)	100.00	3.00	5.00	7.00
ユネスコ和紙ブラン ド 各産地新商品開 発数 (商品の品目)	0	4	3	3

	KPI増加分の累 計
石州半紙、細川紙、 本美濃紙の売上増 (%)	15.00
ユネスコ和紙ブラン ド 各産地新商品開 発数 (商品の品目)	10

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を各市町村のホームページ等で公表する。